

■ 島嶼スケッチ

平成20年度奄美サテライト教室説明会

平成20年度奄美サテライト教室の説明会が、11月17日（土）、奄美大島（奄美市中央公民館金久地区分館3階）と徳之島（徳之島生涯学習センター）の2会場で同時に開催されました。奄美サテライト教室の現状と説明会の模様等について、奄美会場担当の山田奄美委員会委員長と徳之島会場担当の桑原奄美委員会委員の報告を掲載します。

*

奄美サテライト教室情報
山田 誠（奄美委員会委員長）

☆平成19年度の事業特色

奄美に住みながら鹿児島大学大学院の正規授業が受講できる受けられる奄美サテライト教室がスタートして4年になります。今年度は、授業提供の研究科として教育学研究科も加わりました。人文社会科学研究科は、新たに徳之島町の生涯学習センターで徳之島分室の本格的な運用をはじめました。また、文部科学省の特別教育研究経費を投入する事業の最終年度であり、今後の需要掘り越こしの可能性を調査するという意図でもって20科目を超える授業を提供しました。それに加えて、奄美サテライト教室の活動記録と宣伝を兼ねたDVDを作製するなど多彩な事業を展開した年であったといえます。

今年度に特筆されるのは、徳之島分室におけるサテライト教室への関心の高さと強い受講意欲です。このことは、初年度から開かれている奄美市の教室は正規院生2

名、科目等履修生7名であったのに対し、徳之島分室の科目等履修生が奄美大島と同じ数の7名集まったという状況にはっきりと現れています。こうした意欲に積極的に応えるべく、事前の授業計画には予定されていなかった授業方式（教師が徳之島分室に出向いてフェイス・ツー・フェイスで教える）を5科目開きました。それ以外の授業は、奄美教室から双方向の通信システムを使って送信しました。この方式は新しいだけに、時々トラブルに見舞われるなど運営の難しさも経験しました。



☆奄美サテライト教室説明会

平成19年11月17日に、平成20年度の奄美サテライト教室受講希望者の皆さんを対象にした説明会を、奄美大島会場と徳之島会

場で同時に催しました。奄美会場には10名程の方々が、徳之島会場には10数名の方々が参加されました。今年度は、木部研究科長が郡元キャンパスから両会場にあいさつを行ないました。説明会の主要な部分については、遠隔授業の装置を用いて奄美会場から徳之島会場に送信するという手法をとりました。また、この間の関係者の努力により、サテライト教室は次第に利用しやすい制度になってきています。具体的な事項をあげれば、両研究科にまたがって受講する場合も検定料・入学金は一度取めればよい。科目等履修生の受付期間も3日間から1週間に延長する、などです。

それぞれ会場では、研究計画書の作成要領や授業選択など活発な質問が相次いでいただきました。その中で、申し込み時点で授業日を発表するという要望は、難しい点をいくつか含んではいます。しかしながら、受講希望者が授業料を払ったにもかかわらず、実際に受講できないという不合理を生じさせないためには必要な措置だといえます。奄美委員会で検討しなければならぬテーマといえます。

来年度から運営資金が極端に少なくなるため、人文社会科学研究科の場合、すでに決定している7科目[奄美プロジェクト研究(21世紀の過疎地域振興)、総合講義(自然保護と地域振興政策)、経営情報論特論、国際経済システム論特論、言語文化特論、文化人類学特論、宗教学特論]以外の授業提供はあまり見込めません。しかしながら、今後、提供授業の再編成などに必要となりますので、今年度も受けたい授業のアンケートを実施します。

奄美サテライト教室を全学的な取り組みにするという大学の方針に沿って、今回は全学の教務課大学院係が説明会の運営にあたりました。また、教育学研究科も正式に参加したため、説明会の正式名称からは人

文社会科学研究科が外れ、鹿児島大学大学院となりました。今後の関連スケジュールは以下のようになっています。人文社会科学研究科の第二期入試に関しては、募集期間が平成20年1月11日(金)～1月17日(木)、試験日が平成20年2月14日(木)、15日(金)となっています。平成20年度前期の科目等履修生の募集期間は、平成20年2月27日(水)～3月4日(火)です。

—奄美サテライト教室について
の問い合わせ先—

鹿児島大学教務課大学院係
〒890-0065 鹿児島市郡元1-21-30
電話：099-285-7346
問い合わせは、9時～17時まで
(土、日、祝日は除く)
奄美サテライト教室ホームページ：
<http://www.leh.kagoshima-u.ac.jp/hss/>

*

奄美サテライト教室 徳之島分室
平成20年度授業説明会
桑原 季雄(奄美委員会委員)

11月17日午後6時から7時50分まで、徳之島町生涯学習センター2階のパソコンルームにおいて、鹿児島大学および奄美サテライト教室(中央公民館金久分館)の二つの会場とインターネット回線をつないで、平成20年度授業説明会を開催した。鹿児島大学からは、井上晃男特任教授と学生部教務課大学院係の本忠夫係長、および桑原が参加した。徳之島では徳之島町教育委員会学校教育課の正田課長と19年度の科目等履修生7名および新しく6名の方が参加

してくださった。

説明会の会場となった生涯学習センター2階のパソコンルームでは徳之島OA販売の永蔵三也氏がインターネットによる動画送信受信のセッティングを担当してくださった。部屋正面に大きなスクリーンをおろして、画面の右側半分では鹿児島大学からの映像を、左側半分では奄美市からの映像を映しだせるようにした。また、ビデオカメラを2台準備し、徳之島会場の映像を奄美と鹿児島に送信できるようにした。

午後6時に説明会が始まり、奄美会場から今年作成されたばかりのサテライト教室案内用のDVDが20分ほど放映された。映像には徳之島の受講生の一人、川上力氏が何度も登場して、時折笑い声が出るなどなごやかな雰囲気で見入っていた。そのあと、鹿児島大学からインターネット回線を通じてスクリーンで木部暢子人文社会科学研究所長の挨拶があり、参加者はみな、静かに耳を傾けていた。木部研究科長の挨拶に引き続き、木村大学院教務委員長による人文社会科学研究所と奄美サテライト教室についての説明、山田誠奄美委員会委員長の挨拶があった。

鹿児島大学からの映像も奄美市からの映像もいずれも画質は必ずしも鮮明ではなく、また動きも滑らかな映像ではなかったが、話の内容はスピーカーを通して明瞭に聞くことができた。また、徳之島からのマイクを通した声も奄美市の会場に届いたようではあるが、若干のタイムラグがあり、必ずしもスムーズな応答ではなかった。

奄美会場で教育学研究科の担当者の挨拶や説明の間、受像を止めて、井上先生と本さん、桑原の3人で個別に来年度の授業に関して、徳之島の参加者に補足説明を行い、質疑応答の時間を持った。徳之島の参加者からは、どのようにすれば、徳之島会場でインターネット回線による授業ではなく、

対面式の受講が可能なのかということについて多くの質問が集中し、来年度以降も持続して欲しいという声と合わせて、サテライト授業への関心の高さをうかがい知ることができた。

その後、また奄美会場からの呼びかけに応じて、インターネット回線による受像を開始し、大学院系の茂利さんから受講手続きの説明を聞いた。そののち、インターネット回線を完全に遮断して、徳之島会場だけの説明を継続した。また、開講アンケート用紙を配布し、その場でアンケートを書き終えた人については用紙を回収した。

今回の説明会への6名の新しい参加者の内訳は、男性3名、女性3名。年齢は30代2名、40代1名、60代3名。夫婦2組。現教員2名、元教員1名、主婦2名、元役場関係者1名。徳之島町から3名、伊仙町から1名、天城町から2名であった。今回も3町から参加者があったことになる。

徳之島では、今年度の受講生が周りの知人友人に声をかけたり、徳之島町教育委員会の正田課長が昨年度に引き続き大いに尽力してくださった。

山田委員長の冒頭の説明を受けて、せっかく立ち上がった徳之島でのサテライト教室を、受講者がいないということで消滅しないようにという危機感と意気込みが強く感じられた。質疑応答も活発で、結局7時半終了の予定が、終了したのは8時前であった。